リケジョ de 訪問シリーズ

— 第4回サロン 東京工業高等専門学校での開催 —

Series of “RIKEJO de Visit” – The 4th Salon at National Institute of Technology, Tokyo College –

中 谷 敬 子^{※1}
Keiko NAKATANI

1. はじめに一謎の魅力に満ちた高専訪問？！

事業企画委員会ダイバーシティ調査研究ワーキンググループでは、2018年から女性会員のネットワーク作りとリケジョエンパワーメントをテーマとしたシリーズ企画を立ち上げてきた。このワーキンググループが運営するシリーズ企画のひとつである「リケジョ de 訪問」は、企業と高等教育機関の両方での開催を通じて、リケジョをはじめとする「技術者」の育成と活躍の現状について、多角的な知見を得て実践に活かすことを目的の一つとしている。第4回サロンは、高等教育機関の中でも初めて「工業高等専門学校」を開催場所とした。15歳の中学卒業時点で工学系に進み技術者になるのだと進路を決めた「女子」の動機や学びの環境は？などの疑問から、ものづくりの高等教育を受けた女子高専生のリアルを知り、女性技術者を増やす活動にとって良いヒントを探り、さらに、高専女子の強みや望む環境を企業が学び、現場に持ち帰ることで、リケジョの育成支援に活かすことを目的とする。本稿では、高専開催らしい、個性的に楽しく、のびやかに語り合った第4回サロンについて報告する。

2. 第4回サロンの概要

国立高等専門学校機構 谷口 功 理事長(当ワーキングメンバー)、東京工業高等専門学校 新保 幸一 校長、高専卒業生 丸田氏をはじめ、高専現役・OGリケジョの4名の話者提供、見学、見える化ディスカッションと盛り沢山であった。図1に、内容とスケジュールを示す。

- (1) 日程：2019年6月29日(土)【学校公開日】
- (2) 場所：東京工業高等専門学校 コラボレーションコモンズ1Fラーニングエリア
- (3) 参加者数：28名
- (4) 参加機関：長岡技科大、鹿児島高専、工学院大学、日本大学、芝浦工業大学、沼津高専、(株)デンソー、国立高専機構、東京高専、泰興物産(株)、(株)IHI、東京都立産技研、国立女性教育会館、府大高専、新潟工業短大
- (5) サロン内容：話者提供：(Ⅰ)高専教育・採用企業、(Ⅱ)高専現役・OG生、高専見学、ディスカッション、懇親会

13:00～	挨拶 内海房子 (WG主査/国立女性教育会館理事長)
13:10～	話題提供 (Ⅰ)
《高専の取り組み》13:10～	
(1)	「KOSENが進める男女共同参画の取り組みについて」 国立高等専門学校機構 谷口 功 理事長
(2)	「東京高専の現状について」 東京工業高等専門学校 新保 幸一 校長
《高専生を受け入れた企業の事例紹介》14:10～	
(1)	「高専卒業生が高専卒を雇用してみよう」 泰興物産株式会社開発部 丸田 智子 氏
14:30～	高専内見学 (各20分)
	①研究室 ②ものづくり教育センター ③ロボコン
15:30～	話題提供 (Ⅱ)《現役・OGのリアルトーク》
(1)	東京高専の現役女子高専生 ・電気電子工学専攻2年 鈴木 碧 氏 ・情報工学科5年 工藤 颯希 氏
(2)	女性技術者として活躍中の東京高専OG ・「はたらく！女性エンジニアの話ー株式会社IHI/技術の仕事とワークライフバランス」 株式会社IHI 航空・宇宙・防衛事業領域 小澤 瑠 氏 ・「高専女子のスクールライフとキャリア」 東京都立産業技術研究センター 福田 純子 氏
16:10～17:10	ディスカッション
17:30～	懇親会 (19:00終了予定)

図1 サロンの内容とスケジュール

3. サロン実施結果

結果について、図2に写真を示す。以下、アンケートの自由記述を引用しながら紹介する。

(1) 話題提供 (Ⅰ)：高専教育・採用企業

高専教育に関わる先生方2名、高専卒業生を技術者として雇用しておられる高専卒業生にご登壇いただき、高専教育について情報共有をした。

【アンケートより】

- ・現役高専生の取り組みと教育機関の方針が聞けて良かった (企業)
- ・工学にどっぷりつかることが出来る環境が充実していて羨ましい (学生)
- ・高専あるあるで共感 (企業)
- ・日本社会にはとがった人材が必要、というのに納得 (教育機関)

(2) 話題提供 (Ⅱ)：高専現役・OG生

高専リアルトークとして、東京高専の現役女子学生と、OG生による話題提供がなされた。高専を選んだ理由、学校生活の体験談、卒業後の進路、技術者としての活躍やあり方について発表された。

【アンケートより】

- ・学生やOBが勉強や仕事をしながらもエレガントさ

2019年8月30日受付

※1大阪府立大学工業高等専門学校

図2 サロンの様子(左から、話題提供者・丸田氏、研究紹介・那須氏、工場見学、グループおよび全体討論)

図3 ディスカッションで作成した見える化シート

を失わないのに感動。昔のリケジョは、なりふり構わない感じだったので(教育機関)

- ・高専およびそこで活躍、企業で活躍している人の生の声を聞いたこと、学生さんらが生き生き説明してくれて元気を頂いた(企業)
- ・リアルな言葉が良かった(教育機関)
- ・リアル過ぎて面白かった(学生)

(3) 高専見学

研究室、および、ものづくり教育センター、および、高専ロボコンについて施設・研究紹介、デモンストレーションがあった。

【アンケートより】

- ・高専に行ったことが無かったので、施設や学生さんの話を聞くことが出来て、凄いなと思うことが沢山あった。特に実習など(学生)

(4) ディスカッション

異なる立場の参加者で構成されるように工夫した班ごとに模造紙に議論を書き出す「見える化シート」を作った。全体共有では、貼り出したシートを示しながら全体で議論した。作成した見える化シートを図3に示す。

【アンケートより】

- ・学生、教員、企業の混成で、いろいろな立場・視点で聞いた(企業)
- ・色んな視点からの意見を聞くことが出来て良かったです(学生)
- ・企業・学校・学生それぞれの視点から、一つの問題を見ることができた(学生)
- ・時間が少し足りなかった(企業、教育機関、学生)

4. まとめ

学生、高等教育、企業教育に携わる女性に多数参加頂き、女性のキャリアのために、どのような教育、取り組みをしているのか、女性のキャリア指導で疑問に思っていること、悩んでいることなどを共有し議論し、女性が輝

いて働ける未来に向けてのきっかけやヒントを得た。

5. 最後に

著者は、話題提供頂いた、高専OGの丸田氏と意気投合(私が一方的に?!)した。技術者教育に関する彼女の主張に強く感銘を受けた著者は、8月に丸田氏の会社「泰興物産(株)」への工場見学に押しかけた。泰興物産(株)は高専技術者が活躍している、プラスチック射出成形・金型製造・IoTデバイス開発製造企業である。パワフルな丸田氏に再会し、企業内の方々が互いに技術と人柄を尊敬しあってもものづくりに取り組んでおられる姿に感銘を受けた。以下、丸田さんとの議論を経て、今、著者が感じていることを記して、結びとしたい。

技術者の育成は、技術の育成だけでなく、人間の育成でもある。特に、高専は、人格が形成される重要な少年期から青年期へ移行する15歳から22歳までの若者を教育・育成する。ある高専創設世代の高専OB技術者は「当時は技術を教える人が居なくて、会社のホンモノの技術者が教員になっていた。会社からの技術者の先生の話は、本当に面白くて、今でも記憶に残っている。」と語っている。

未来社会で活躍する技術者の育成が、高専を含む高等教育機関のミッションである。今回のリケジョ de サロンでは、高専に濃密にかかわっておられる方々は、明るくおおらかに、しかし、率直に鋭く発信された。それに触発されて、リケジョの活躍・育成についての腹を割った多くの議論がなされた。未来社会は過去の延長線上に無くても、高専の能動的な学びプロセスを重視する教育は、現在の高専卒のOB/OGの活躍からみて、非常に有用性が高いものであり、イノベーションが期待される未来社会に向け、過去と現在の高専教育から学ぶものは多い。

今回のリケジョ de サロンで触れた高専の教育システムとそこで育った学生と技術者の方々の声は、技術者教育そのものの在り方を私たちに問うているように思う。